２学期「命の週間」における学校の取組

主な取組	具体的な内容	○学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
全ての児童・生徒に対する指導の徹底	○始業式における校長講話	○校長から様々な人が児童の命について大切に考えていること、様々な相談の方法があることを伝えた。児童が悩みを担任や養護教諭等に相談でき、早期に対応できた。今後も継続的に取り組んでいく。
	○全校朝会におけるピースエンジェルズ報告会	○夏休み中にピースエンジェルズの活動に参加した児童が、広島原爆の事実について説明することを通して、命はかけがえのないものであり、平和が大切であることを全校児童に伝えた。
支援が必要な児童の早期発見・早期対応に向けた取組の徹底	○不安や悩みを抱えたときの対応	○２学期開始にあたって、担任から児童に対して、不安なことや困ったことがあったときは決して一人で抱えず、近くの人に相談することを指導した。
	○あいさつプラス一言運動	○全学年で実施。児童とのコミュニケーションを意図的に増やし、児童の見取りを丁寧に行うことができた。今後も継続的に取り組んでいく。
	○身体計測	○身体計測の際、養護教諭が身体の様子の異常の有無を確認した。担任と養護教諭が連携して児童の様子を観察できた。保健指導では、自分の命を守る行動について扱った。
教職員の心の健康	○副校長より、教職員向けメンタルヘルス啓発冊子の配布及び周知	○副校長から職員夕会で周知及び教職員に配布。児童に適切な指導や支援を行うためには、教職員自身の心身の健康が大切であることを共有した。